

高等部だより

だいち

根をはって
限りなく広がる大地に
ワン

2017.3.17(金) 第15号
福島県立会津養護学校高等部
TEL 0242-32-2242

文責 高等部



28名の巣立ち！



答辞

3月3日、春のおだやかな季節のもと、28名の生徒が高等部を卒業し、新たな世界へと旅立ちました。式場は、物音一つしない緊張感があり厳かそのものでした。証書を受け取る生徒の表情はそれぞれ凛としてきびきびしていました。式中所作や式歌など堂々とし練習以上の出来映えで皆さんからお褒めのことばをいただきました。級友の突然の死を乗り越えて、素晴らしい卒業式だったと思います。

4月からは社会人として、新しい生活をスタートさせます。生徒の中には、4月からではなくこの春休みから仕事を始める人もいます。学校生活で学んだことを生かし困難なことも乗り越え、未来へ向かって充実した社会生活を切り開いていってほしいと思います。

在校生は、生徒会長の佐藤君が送辞で話したように、先輩方から学んだこと、後ろ姿に感じたことをしっかりと自分たちで捉え直し、目標を明確にして先輩へ追いつき追い越すべき、勉強や運動、友との融和を持ってさらに「自分磨き」をしていきましょう。頑張ろう後輩たち、「君たちならできる！」。



送辞



卒業生入場



卒業証書授与



式歌「旅立ちの時」



卒業生歌う：高らかに



退場：新たな道へ スタート



タイガーマスクさんからのお祝い



多くの方々から お祝いの言葉をいただきました！

2月27日朝・・・
藤田安弘君の突然の逝去・・・
心よりご冥福をお祈りいたします。

平成29年度入試合格発表

〈新入生オリエンテーション 3/27 始業式・入学式4/10〉



受験番号を確認する生徒たち

3月14日（火）に、本校生徒昇降口にて、平成29年度高等部入学者選抜の合格者が発表されました。生徒の皆さん本当におめでとうございます。合格者の内訳は、本校中学部から11名（男子6名、女子5名）外部の中学校からは18名（男子12名、女子6名）、合計29名の生徒です。後期受験者の出願はありませんので、今のところ29名の新入学生を加え、来年度の高等部生徒数は、全部で105名になる予定です。新校名「会津支援学校」の1期生ということでしょうか。

生徒一人一人が自分の良さを生かし、様々なことに挑戦して一層輝けるよう頑張ってもらいたいです。私たち教員も、教育目標にある「元気で明るく・みんなで仲良く・自分の力で」をめざし、自立し社会参加する生徒に育てていきたいと考えます。



修了証書を授与

修了式!



1年間の思い出発表

3月17日（金）に平成28年度高等部修了式を行いました。

1年生は、29名が全課程を修了し、6組の結城諒大君が代表して修了証書をいただきました。2年生は46名が全課程を修了し、7組の船木淳実さんが代表して修了証書をいただきました。修了に際し2年生の芳田翔伍君が1年間の思い出発表を行いました。4月から学年が一つ進級し、2年生・3年生となります。失敗を恐れず、いろいろなことにチャレンジして一つ一つ乗り越えていってほしいと思います。『つまづくのは、歩こうと一歩前に足を出したからです』と、卒業式の送辞で生徒会長が話しましたが、そのとおり、何もしない人は、つまずきません。 さあ生徒諸君！つまづくことを恐れず、一歩前へ踏みだそう！

人生常に岐路に立つ

生徒一人一人の社会的・職業的自立に向けた取り組みは重要です。どの生徒も社会の中で自分の役割を果たしながら自分らしい生き方を実現していく過程をとおして働く力をつけていきます。

日常の些細なことから進路決定までの、その選択には「迷い・悩む」のが常です。しかし、迷い悩むのは、「前に進みたいから」です。勇気を持って進んでいきたいものです。

下記は、今年度の進路状況です。生活介護3名、就労継続支援A型事業1名、就労継続支援B型事業11名、就労移行支援事業0名、一般就労12名、進学0名、その他1名合計28名です。

未来の皆さんへ幸多かれ！

春休みはゼロ学期!

春休みは「0（ゼロ）学期」と言われることがあります。意味はいろいろあるようですが、要は「0」から「1」までの数の間には、見えない時間があり、「1」学期からの良いスタートには、その見えない時間を大切にすることが肝要であるという意味です。1学期までの3週間の「過ごし方や心の持ちよう」を大人も子どもも少し意識してみましよう。 きっといいスタートが切れることと思います。



ワン

「〇〇年後の自分・・・」

25歳の自分・・・

「先生、絶対見に来てください!」。2年生の生徒の「〇〇年後の自分」というテーマで夢を語る授業を参観した。生徒達は、自分の言葉で自分の未来のイメージを素直に表現していた。発表のキーワードをまとめると、「卒業・就職・一人暮らし・ゲーム遊び・友達と喧嘩・居酒屋で一杯・運転免許・仕事の悩み・上司から叱られる・結婚・子育て・転職・・・」等々、夢があふれている。教室中が笑いと感動の暖かい空気で包まれた。この発表が生徒一人一人の目標となり、そこへ向かって力強く歩んで行く姿を期待すると同時に、生徒の夢描いた目標を達成させるべく「私たちの責任は如何に」と、考えさせられる瞬間でもあった。

この4月から「会津支援学校」に校名が変わる。これまでの教育の歩みが変わるわけではないが、変えてはいけないモノと変えるべきモノがあるだろう。いわゆる「不易流行」の視点である。例えば、分かる授業の「不易流行」である。それらは誰よりも早く生徒達が敏感に感じ取るに違いない。私たちは生徒の姿から大いに学ぶべきである。加えて本校教育の「不易流行」とはなにか。私たち教員は、会津支援学校の「〇〇年後」について、生徒の発表に負けないうっかりと未来を見据えて創造したいものである。(T・Y)